

喜劇 男は愛嬌 (1970)

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 87分

初公開日 1970/06/13

【解説】

森崎東が熊谷勲と梶原政男とともに執筆したシナリオを監督した。森崎の監督デビュー作「喜劇 女は度胸」の続編的作品。音楽は山本直純が担当。

ボランティアで司法保護司もしている曾我民夫は、少年鑑別所を出て町に戻ってきた幼なじみ小川春子の保護観察を引き受ける。公民館で春子の歓迎会が行われるが、そこへ民夫の兄でマグロ漁船の乗組員である五郎が漁から戻り乱入。自分の上陸祝いにと下品な替え歌を歌い、酔っばらったあげく亀吉とダンプを運転し春子の家に突っ込んでしまう。強欲な家主とダンプの持ち主に責められた五郎は、春子を金持ちに嫁がせて結納金をくすねようと考えた。しかし縁談はことごとく失敗。春子は迷惑をかけまいと家出してしまう…。

【クレジット】

監督 森崎東

製作 上村力

脚本 森崎東

熊谷勲

梶原政男

撮影 吉川憲一

美術 芳野尹孝

編集 森弥成

音楽 山本直純

出演 渥美清

倍賞美津子

寺尾聡

沖山秀子

花沢徳衛

左とん平

財津一郎

穴戸錠